Panasonic

SD-Jukebox Ver. 5

取扱説明書



SDオーディオ再生機器で音楽を楽しむ前に

必ずこの取扱説明書に従って、
SDメモリーカードに音楽を入れてください。

Windowsの基本操作やコンピューター、周辺機器の取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書とSDオーディオ再生機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

MSC0125CD_J_ZA　MS0205KH0

「SD-Jukebox」ご使用上のご注意

「SD-Jukebox」は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- 「SD-Jukebox」は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。
  暗号化された音楽データを別のフォルダーやドライブ、他のコンピューターに移動／複写して使用することはできません。
- ご使用のプロセッサーならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接／間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。
- MMC（MultiMediaCard）を使用することはできません。
- ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠注意

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところには置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ユーザー登録のお願い

SD-Jukeboxのご使用に際して、必ずユーザー登録をしていただきますようお願いいたします。ユーザー登録は、商品サポート情報やバージョンアップ情報、新製品のお知らせ、またアフターサービスのためにも必要です。
インターネットの所定のホームページ上で登録してください。

● インターネット上で登録するには、

① SD-Jukeboxを起動後、画面上部の［サポート］をクリックします。
② 表示されるホームページの画面の内容に従って入力します。

ホームページアドレス（ユーザー登録など）
http://panasonic.jp/support/software/
http://panasonic.jp/support/software/sded/

最新情報について

付属のCD-ROMのReadme.txtファイルには、SD-Jukeboxについての最新情報が掲載されています。あわせてご覧ください。

著作権保護に関する制限

- このソフトウェアをご使用いただくうえでは、著作権保護のための制限があります。
  - コピー制限情報が埋め込まれている場合、またはDVDオーディオ機器を使用して録音した音楽データの場合は、取り扱えないことがあります。
  - 著作権者やサービス事業者が音楽データの利用方法に関する条件を音楽データに付加している場合、この条件に従う必要があります。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護に関する取り決めが今後、変更されたり新しい取り決めになったりした場合は、SD-Jukeboxの一部の機能が使えなくなる場合があります。この場合、SD-Jukeboxをアップグレードさせていただく予定です。アップグレードは有償となる場合があります。あらかじめご了承ください。

もくじ

準備

すぐに使う

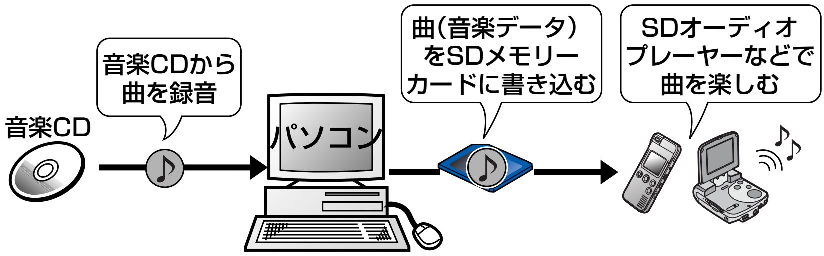
さらに使う

必要なときに

お使いになる前に

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは、音楽CDの曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDメモリーカードに書き込んでSDオーディオプレーヤーなどのSDオーディオ再生機器（以降、「再生機器」と記載します。）で楽しむことのできるソフトウェアです。



必要なシステム構成

SD-Jukeboxをお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたパソコンが必要です。

対応パソコン：下記対応のOS （日本語版）がプリインストールされたIBM PC/AT またはその互換機

対応OS（日本語版）：Microsoft® Windows® 2000(Professional SP2/SP3/SP4) Microsoft® Windows® XP (Home Edition/ProfessionalおよびSP1/SP2)

ハードウェア

CPU：　Intel Pentium® Ⅲ 500 MHz 以上
RAM：　256 MB 以上
ハードディスク：100 MB以上の空き容量
（Windowsのバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です。）
ディスプレイ：　High Color（16 bit）以上
デスクトップ領域 800 × 600 以上(1024 x 768 以上を推奨)
サウンド：　Windows互換サウンドデバイス
CD-ROMドライブ（インストールおよびCDの録音に必要）：
デジタル録音対応　4倍速以上
（IEEE1394で接続するCD-ROMドライブでは動作しません。）
インターフェース：USB端子（SDメモリーカードの接続に必要）
（USBハブで接続した場合の動作は保証していません。
同梱以外のUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）
その他：　インターネット接続環境（CDDB機能を利用する場合に必要）

必要なソフトウェア

DirectX® 8.1以降

お知らせ

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Macintoshには対応していません。
- 上記対応OS以外のWindows環境での動作は保証していません。
- OSのアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限（Administrator）のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64ビットOS搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。
- SDメモリーカード/miniSDメモリーカードの使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接/間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

もくじへ

以前のバージョンをお使いの場合

■「SD-JukeboxV1.x～V3.x」をご使用のお客様へ

SD-JukeboxV1.x～V3.xで作成した音楽データはSD-JukeboxV5ではご使用になれません。V1.x～V3.xで作成した音楽データは、それぞれSD-JukeboxV1.x～V3.xでご使用ください※。
(SD-JukeboxV5のインストール後もV1.x、V2.xまたはV3.xはそのままご使用いただけます※)

※ V1.xは、Windows 2000およびWindows XPでは使用できません。

■「SD-JukeboxV4.0」をご使用のお客様へ

画面上部の［設定］をクリックし、「一般」タブをクリックします。
「旧データベースを反映する」の［実行］ボタンをクリックしてください。
Ver.4.0で録音した曲が聞けるようになります。(☞44ページ)

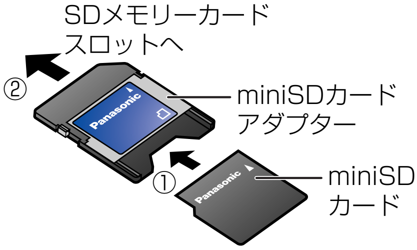
■「SD-JukeboxV4.1」をご使用のお客様へ

Ver.4.1で録音した曲は、そのまま聞けます。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードについてのご注意

- 利用可能なSDメモリーカードは以下の通りです。
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1GB
  ※ Panasonic製SDメモリーカードでの確認結果であり、各社のカード全てでの動作を保証するものではありません。詳細については、以下のホームページを確認してください。
  http://panasonic.jp/support/audio/sd/
- SDメモリーカード/miniSDカードの使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- miniSDカードを、SDメモリーカード対応機器で使用する場合は、以下の点について注意してください。
  – 専用のminiSDカードアダプターに必ず装着してください。
  – miniSDカードの向きや裏表を確認してからカードアダプターに装着してください。
  – 使用する際には、必ずアダプターごと抜き差ししてください。カードアダプターをスロット内に残さないでください。



SDメモリーカードの接続

お使いの再生機器または、SDカードリーダーライターをパソコンに接続し、SDメモリーカードを取り付けてください。
再生機器についての詳細は、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する

❷ 再生機器またはSDカードリーダーライターをパソコンに接続する

Windowsのエクスプローラなどで、再生機器またはSDカードリーダーライターが認識されていることを確認してください。（表示されない場合 ☞ 56ページ）

❸ SDメモリーカードの方向を確認して、再生機器またはSDカードリーダーライターに取り付ける

SDメモリーカードを逆向きに取り付けると、再生機器またはSDカードリーダーライターやSDメモリーカードが破損する場合があります。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

次ページへ続く▶

SDメモリーカードについて

お知らせ

- 以下の場合、SDカードリーダーライターの動作は保証しません。
  - SDカードリーダーライターと他のSDメモリーカード専用アダプターを接続している場合
  - USBハブおよびUSB延長ケーブルをお使いの場合
- SD-Jukebox でSDメモリーカードへの書き込みを行うには、セキュア対応(著作権保護機能)の再生機器または SDカードリーダーライターが必要です。
  当社製以外の再生機器またはSDカードリーダーライターでの動作は保証しません。
- 当社製のSDカードリーダーライターには、以下のものがあります。（2005年1月31日現在）
  - SDメモリーカード用USBリーダーライター
    BN-SDCEAD
    BN-SDCGP3（※ ファームが最新でない場合は、アップデートしてください。
    http://panasonic.jp/support/p3/memory/download/index.html）
  - SDメモリーカード用PCカードアダプター
    BN-SDAAP3B、BN-SDMAAP3、BN-SDAGP3、BN-SDDAP3

※ 生産終了したものについては、記載していない場合があります。

SDメモリーカードを取り外す

① 再生機器またはSDカードリーダーライターが、SDメモリーカードにアクセスしていないことを確認する
② ［マイコンピュータ］をダブルクリックし、SDメモリーカードを示す［リムーバブルディスク］のアイコンを右クリックする
③ ［取り出し］をクリックする
④ SDメモリーカードを取り外す

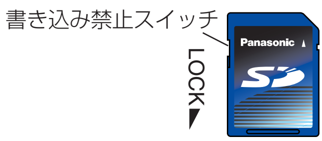
SDメモリーカードのデータを保護するために

SD-Jukeboxが起動している間は、以下のことをしないでください。

- 再生機器またはSDカードリーダーライターの取り付け／取り外し
- SD-JukeboxやWindowsの強制終了
- パソコンの強制オフ（コンセントから電源コードを抜くなど）

また、SD-Jukeboxが完全に起動するまでの間と、再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードの抜き差しをしないでください。SDメモリーカードの内部が破損したり、データが壊れたりする恐れがあります。

- ノートパソコンの場合は必ずACアダプターをお使いください。
  （操作の途中で電源が切れると、データの破損やソフトウェアが正しく動作しなくなることがあります。）
- 書き込んだ後はSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくことをおすすめします。新たに書き込みをするときには解除してください。



Windowsのエクスプローラに関する制限

SDメモリーカードはパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラで外部ドライブ（Dドライブなど）として表示されます。
Windowsのエクスプローラを使って、SDメモリーカードの音楽データやフォルダーの移動、名前変更、削除、圧縮、フォーマットなどをしないでください。音楽データが再生できなくなります。必ずSD-Jukeboxで操作してください。

起動と終了

起動する

● デスクトップの  アイコンをダブルクリックする

〈HDD画面〉

タイトル画面が表示された後、〈HDD画面〉が表示されます。



お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「すべてのプログラム（または「プログラム」）」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV5」→「SD-JukeboxV5」の順にクリックしてください。
- SD-Jukeboxを起動しているときは、パソコンなど使用する機器の省電力機能をオフにしておくことをおすすめします。
- 初回起動時に、確認の画面が表示されます。
  すぐにインポートを開始したい場合は、［はい］ボタンをクリックします。
  後でインポートを実行する場合は、［後で］ボタンをクリックします。
  インポートの方法は、19ページを参照してください。

終了する

● 画面右上の［×］をクリックする



バージョン番号の確認

SD-Jukeboxのバージョンについて

バージョンの確認は、SD-Jukeboxを起動後、画面右上の［ヘルプ］ボタンをクリックし、［バージョン情報］を選んでください。

〈バージョン情報〉画面を閉じるには、〈バージョン情報〉画面をクリックします。



音楽CDをパソコンに録音する

❶ CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

「デバイス選択リスト」に が表示されます。
別のソフトウェアで自動的に再生が始まった場合（CD-EXTRAや自動再生機能を持ったソフトウェアなど）は、終了してください。

❷「デバイス選択リスト」の をクリックする

〈CD画面〉に切り替ります。

〈CD画面〉



入力または修正したCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。（☞ 次ページ）

チェックマークを外すと、録音した曲はミュージックソムリエ機能で選曲されません。（☞ 28ページ）

チェックマークを付けると、録音した曲を同時にSDメモリーカードに書き込みます。

❸ 録音する曲に （チェックマーク）を付ける

- チェックマークが付いた曲が録音されます。（クリックしてチェックマークを外すと、録音されません。）
- 英会話、落語、効果音など、音楽以外のものを録音するときは「ミュージックソムリエに登録する」のチェックマークを外してください。

❹ 必要に応じて、録音形式と音質を変更する（☞ 45ページ）

❺ HDDの空き容量、SDのドライブと空き容量を確認する

❻ start をクリックする

- 録音が始まります。
- 録音を途中でやめるには cancel をクリックします。

次ページへ続く▶

お 願 い

録音中にはCDの取り出しや、SDメモリーカードの取り付け／取り外しをしないでください。

お知らせ

- CD-RおよびCD-RWからの録音は保証しません。
- CD TEXTに対応したCDを録音する場合は、CDに記録されているアーティスト名やタイトル情報が自動的に取得されます。ただし、お使いのパソコンのCD-ROMドライブがCD TEXTに対応している必要があります。

■ CDDBについて

- CDDBに楽曲情報が登録されている場合は、タイトル情報やアーティスト情報などが自動的に取得できます。
- CDDB機能を利用するには、各サービスプロバイダーとの契約、インターネットへの接続環境の設定が必要です。
  接続環境を設定したうえ、SD-Jukeboxの〈設定〉画面でCDDB設定を行ってください。
  （☞47ページ）
- 情報が取得できない場合、タイトルはベースファイル名に従って付けられます。（☞48ページ）
  （アーティスト情報は自動では入力されません。）
  タイトルをクリックすると、タイトル名の変更ができます。

パソコンで聞く

CD、パソコン、SDメモリーカード内の曲をこのソフトウェアを使って聞くことができます。

1 「デバイス選択リスト」から再生したいデバイス（HDD、CD、SD）をクリックし、「プレイリスト」欄の「Audio」をクリックする

曲が表示されます。

例： HDD画面の場合



2 再生したいプレイリストまたは曲を選ぶ

3 （再生ボタン）または（ザッピングボタン）をクリックする

- プレイリストを選択した場合は、1曲目から再生が始まります。
- 再生したい曲をダブルクリックすると、その曲から再生が始まります。
- （ザッピングボタン）をクリックすると、選んだ曲の特徴部分の再生（ザッピング再生）ができます。詳しくは38ページを参照してください。

お願い

CDやSDメモリーカードの再生中は、CDやSDメモリーカードを取り出したり、CD-ROMドライブのトレイを開けたりしないでください。

お知らせ

- ミュージックソムリエの対象となる曲は、タイトルの左側に音符付きマークが表示されます。
- 音楽再生時のボタン操作については、38ページを参照してください。
- 携帯電話を使って録音した音楽コンテンツは、パソコンで再生することができます。
  対応機種に関しては、以下のホームページを参照してください。
  http://panasonic.jp/support/software/sded/
  SDメモリーカードをパソコンに接続する方法は、8ページを参照してください。
  音楽配信サービスについては、34ページを参照してください。

シンプルプレーヤーに切り替える

※この機能は、Standard Edition のみでお使いになれます。

SD-Jukebox を小さくして、音楽を聞くことができます。

● **[シンプルプレーヤー］をクリックする**

シンプルプレーヤーに切り替わります。



お知らせ

- ［シンプルプレーヤー］を右クリックすると、シンプルプレーヤーの種類が選べます。
- 標準プレーヤーに戻すには、シンプルプレーヤー上の「標準プレーヤー表示」ボタンをクリックしてください。

SDメモリーカードを使う

SDメモリーカードへ好みの曲を選んで書き込む

パソコン内にある曲の中から好みの曲を選んで、SDメモリーカードへ書き込みます。

❶ **SDメモリーカードを接続する**（☞8ページ）

❷ **「デバイス選択リスト」の をクリックし、「Audio」をクリックする**

❸ **書き込みたい曲に ☑（チェックマーク）を付ける**

❹ **SDのドライブと空き容量を確認する**



❺ **start をクリックする**

- SDメモリーカードへの書き込みが始まります。
- 書き込みを途中でやめるには ✕cancel をクリックします。

お 願 い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

お知らせ

- お使いの再生機器に対応しているデータ形式を確認してSDメモリーカードへ書き込んでください。
- 手順❸のときに「SDカードにプレイリストを作成する」にチェックマークを付けると、「プレイリスト」欄で選んでいるプレイリストも同時に書き込むことができます。（☞24ページ）
- 「デバイス選択リスト」の SD へドラッグ＆ドロップしても、SDメモリーカードへの書き込みができます。
- 曲に静止画を添付する方法については、22ページを参照してください。
- 曲に添付されている静止画をSDメモリーカードに書き込むかどうかは選んでいる再生デバイスによって異なります。詳しい内容については、50ページを参照してください。
- SDメモリーカードに書き込み可能なデータ形式については、52ページを参照してください。
- SDメモリーカードに書き込むとき、ファイル形式を変換することができます。詳しくは50ページを参照してください。

SDメモリーカードへプレイリストを書き込む

SDメモリーカードにプレイリストを作成すると、プレイリスト名が表示できる再生機器でプレイリスト名が表示できます。

1 SDメモリーカードを接続する（☞8ページ）

2 「デバイス選択リスト」の をクリックし、「Audio」をクリックする

3 プレイリストを選択する

4 書き込みたい曲に ☑（チェックマーク）を付ける

5 「SDカードにプレイリストを作成する」に ☑（チェックマーク）を付ける

6 SDのドライブと空き容量を確認する



7 start をクリックする

- SDメモリーカードへの書き込みが始まります。
- 書き込みを途中でやめるには ✕cancel をクリックします。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

お知らせ

- お使いの再生機器に対応しているデータ形式を確認してSDメモリーカードへ書き込んでください。
- プレイリストを「デバイス選択リスト」の SD へドラッグ＆ドロップしても、SDメモリーカードへの書き込みができます。
- SDメモリーカードに書き込めるプレイリスト数と曲数には制限があります。
  - プレイリスト数／最大99
  - 1プレイリストあたりの曲数／最大99
  - SDメモリーカード1枚あたりの曲数／最大999
- 同名の曲が含まれるプレイリストの書き込みをくりかえすと、同じ曲データでメモリーを多く占有します。（重複した曲の削除方法 ☞18ページ）

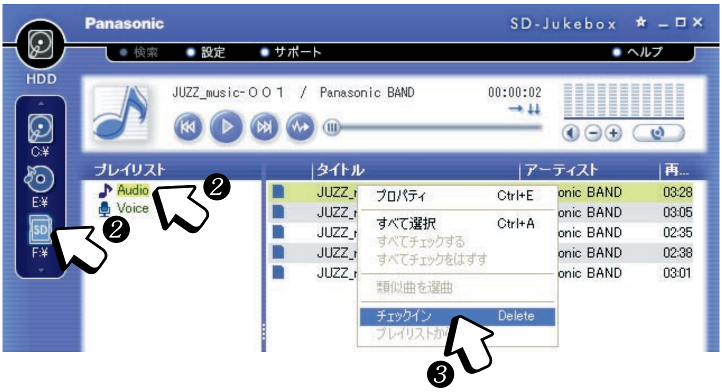
SDメモリーカードから曲を削除する

SDメモリーカードから曲を削除します。

❶ SDメモリーカードを接続する

❷「デバイス選択リスト」の SD をクリックし、「Audio」をクリックする

曲が表示されます。



❸ 削除する曲を右クリックし、[チェックイン] をクリックする

- HDD内に元の曲がある場合は、SDメモリーカードの曲は、HDDに戻されます。
  HDD内に元の曲がない場合、SDメモリーカードの曲は削除されます。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

次ページへ続く ▶

SDメモリーカード上の重複した曲を削除する

曲を削除する際、プレイリストを指定することができません。
曲削除後、曲を残しておきたいプレイリストにその曲を再登録する必要があります。

1. SDメモリーカードを接続する
2. 「デバイス選択リスト」のをクリックし、「Audio」をクリックする
3. 削除する曲がどのプレイリストにあるか確認しておく
4. 「Audio」をクリック後、削除する曲を右クリックし、[チェックイン]をクリックする
5. 曲を残したいプレイリストに、曲リストに残っている曲をドラッグ＆ドロップする

お知らせ

プレイリストに1曲しかなかった場合は、その曲を削除すると、そのプレイリストも削除されます。

お 願 い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

音楽データをSD-Jukeboxに取り込む

ハードディスクに保存されているMP3、WMA、WAV形式ファイルをSD-Jukeboxに取り込みます。

フォルダーごとインポートする

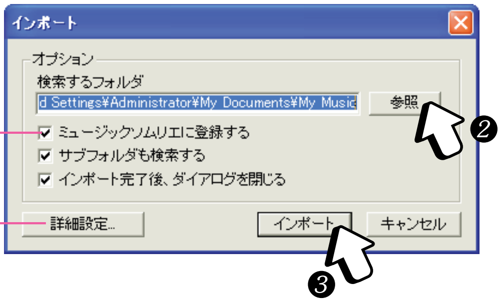
❶ [インポート] を クリックする



〈インポート〉画面が表示されます。

❷ [参照] ボタンをクリックし、取り込む音楽データ（ファイル）を保存しているフォルダーを選んで [OK] をクリックする

〈インポート〉画面



チェックマークを外すと、取り込んだ曲はミュージックソムリエに登録されません。

必要に応じて取り込みの方法と音質を選ぶことができます。(☞46ページ)

❸ [インポート] ボタンをクリックする

- 〈進行状況〉画面が表示され、取り込みが始まります。(☞20ページ)
- フォルダー内にあるAudioコンテンツ（MP3形式、WMA形式、WAV形式の音楽データ）およびVoiceコンテンツがすべて取り込まれます。
- 取り込みを途中でやめるには ［キャンセル］ボタン をクリックします。

曲単位でインポートする

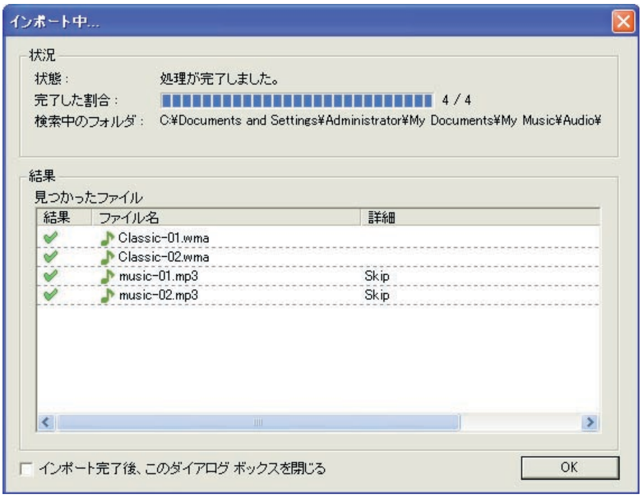
❶「デバイス選択リスト」の をクリックし、「Audio」をクリックする

❷ Windowsエクスプローラなどで取り込む音楽データ（ファイル）を選び、〈HDD画面〉の「曲リスト」にドラッグ＆ドロップする

お知らせ

- 〈進行状況〉画面にインポート結果が表示されます。
  – ：正常に曲のインポートが終了、またはすでに曲がインポート済みの場合に表示されます。インポート済の場合、「詳細」欄に「Skip」が表示されます。
  – ：曲のインポートが失敗した場合に表示されます。

〈進行状況〉画面



- コンテンツ保護（著作権保護）されたWMA形式の音楽データ（ファイル）は取り込むことができません。
- 音楽データ（ファイル）を取り込むときに、SD-Jukeboxがサポートしている文字情報が音楽データに含まれている場合は、そのまま〈HDD画面〉に表示されます。
  ただし、文字情報がない場合やSD-Jukeboxがサポートしていない文字情報の場合は、音楽データのファイル名をタイトルとして表示します。
- 音楽データ（ファイル）を取り込むときに、音楽データに静止画が含まれている場合は、静止画も取り込みます。取り込んだ静止画は、別ファイルとして管理されます。
- 取り込んだデータがSDメモリーカードに書き込めない場合があります。
  SDメモリーカードに書き込み可能なデータ形式については、52ページを参照してください。

編集する

〈HDD画面〉で編集します。

「コンテンツ情報」を編集する

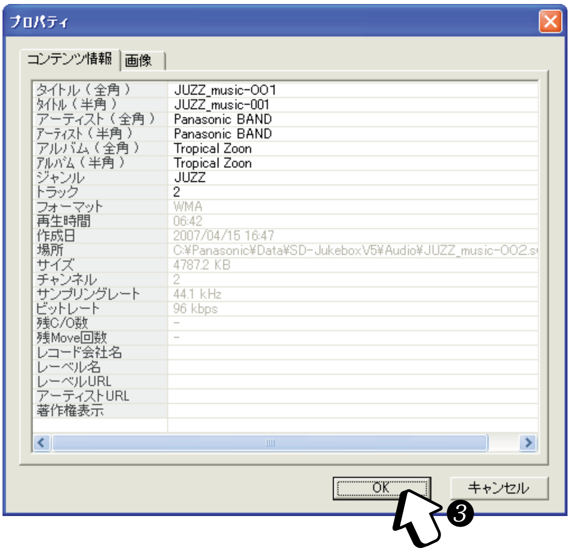
❶ 編集する曲を右クリックする

❷ ［プロパティ］をクリックする

〈プロパティ〉画面が表示されます。

❸ コンテンツ情報を編集して［OK］をクリックする

〈プロパティ〉画面



お知らせ

- 〈HDD画面〉を直接編集して、「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などを編集することもできます。
- 〈HDD画面〉の「プレイリスト」欄の「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などを書き換えると、一度に「コンテンツ情報」の変更ができます。
- SDメモリーカード上の「コンテンツ情報」を変更することはできません。
- 入力できる文字数は以下の通りです。
  – 「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」60文字（全角／半角）
  – 「ﾀｲﾄﾙ」、「ｱｰﾃｨｽﾄ」、「ｱﾙﾊﾞﾑ」60文字（半角のみ）
  – 「ジャンル」30文字（全角／半角）
  – 「トラック」0～99までの整数（半角のみ）
- 静止画を添付することができます。（☞22ページ）
- CD TEXTに対応した音楽CDから録音した場合、CDに記録されている情報が、自動的に〈プロパティ〉画面に入力されます。
- グレー表示の項目は編集できません。

静止画を添付する

1曲につき20枚まで添付できます。

❶ 静止画を添付する曲を右クリックする

❷ ［プロパティ］をクリックする

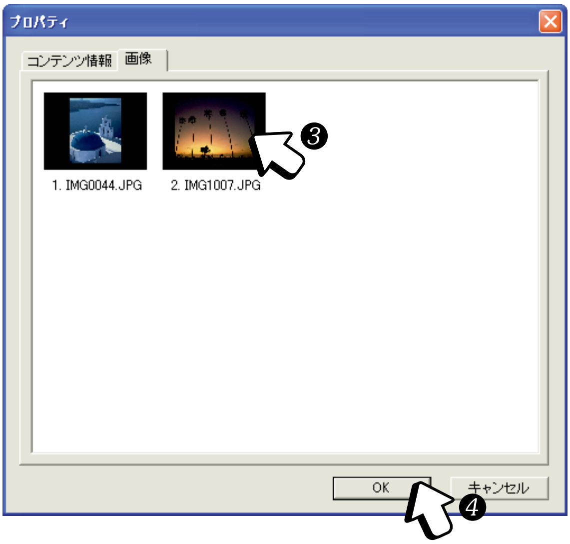
〈プロパティ〉画面が表示されます。

❸「画像」タブをクリックし、添付する静止画をドラッグ＆ドロップする

- 添付されている静止画の順番をドラッグ＆ドロップで変更できます。
- 静止画の削除は、静止画を右クリック→［削除］をクリックで行うことができます。

❹ ［OK］をクリックする

〈プロパティ〉画面



お知らせ

- bmp、jpg、png、tif（非圧縮）、pct、pcx形式の静止画ファイルを添付できます。
- 曲を再生すると、曲に添付されている静止画が〈HDD画面〉上部に表示されます。パソコン上に保存している静止画を添付することができます。
- 曲に複数の静止画が添付されている場合は、一定の時間間隔でスライドショーのように静止画が切り替わります。表示する間隔は〈一般〉設定画面で変更できます。（☞44ページ）



- 〈HDD画面〉の静止画をダブルクリックすると、別ウィンドウで表示されます。
  ⏪⏩で静止画を切り替えることができます。
- 添付した静止画は、〈HDD画面〉上のスライドショーとSD書き込みでのみ使用できます。
- SDメモリーカードへ書き込むとき、曲に添付されている静止画を書き込むかどうかは選んでいる再生デバイスによって異なります。詳しい内容については、50ページを参照してください。静止画を再生できる機器（SDマルチカメラなど）で曲を再生すると、静止画が表示されます。

曲を削除する

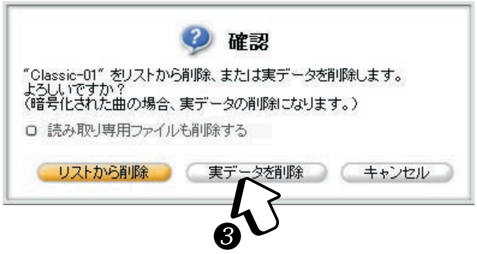
❶ 削除する曲を右クリックする

❷［削除］をクリックする

確認の画面が表示されます。

❸ 確認の画面から削除方法を選ぶ

［実データ削除］ボタンをクリックすると、パソコン内の音楽データそのものが消去されます。

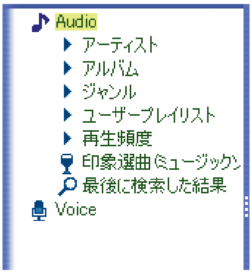


プレイリスト

プレイリストについて

SD-Jukeboxで聞きたい曲やSDメモリーカードへ書き込みたい曲を選ぶときは、「プレイリスト」欄でプレイリストを選びます。

- をクリックすると、下の階層にあるプレイリストが表示されます。（ をクリックすると元に戻ります。）
- プレイリスト名をクリックすると、プレイリストに含まれる曲が表示されます。



Audio—パソコンに曲を録音すると、録音した曲が「Audio」リストに加わります。「Audio」をクリックするとパソコンに録音されているすべての曲が表示されます。
また、「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」の下にプレイリストが自動的に作成されます。

- アーティスト：　アーティストごとに曲を集めたプレイリストです。
- アルバム：　アルバム（CD）ごとに曲を集めたプレイリストです。
- ジャンル：　アルバムのジャンル情報（ホップ、ジャズなど）をもとに作成されるプレイリストです。
- ユーザープレイリスト：録音後に、好みの曲を集めて作成したプレイリストです。
- 再生頻度：　最近1か月／1週間に再生した回数が多い曲を「曲リスト」に表示します。
- 印象選曲（ミュージックソムリエ ☞28ページ）：
  ミュージックソムリエを使った選曲結果を表示します。
  「類似曲を選曲」機能を使うと似た曲を集めたリストを表示します。
- 最後に検索した結果：検索の結果を「曲リスト」に表示します。

Voice— Voiceコンテンツが表示されます。（☞Voice編）

ユーザープレイリストを作る

好みの曲を集めて、新しくユーザープレイリストを作ることができます。

❶「プレイリスト」欄の「ユーザープレイリスト」を右クリックする

❷ [新しいプレイリスト] をクリックする

- 新しいユーザープレイリストが作成されます。
- ユーザープレイリストの名前はベースファイル名に従って付けられます。（☞48ページ）
  作成したユーザープレイリストの内容が分かるように名前を変更しておくことをおすすめします。（☞27ページ）

❸「曲リスト」から曲を選んで、新しく作成したユーザープレイリストにドラッグ＆ドロップする



お知らせ

- 〈SD画面〉上のプレイリスト名の変更については、27ページを参照してください。

タイトルやアーティスト名を検索して作る

条件を設定して、お好みの曲を集めたユーザープレイリストを作ることができます。

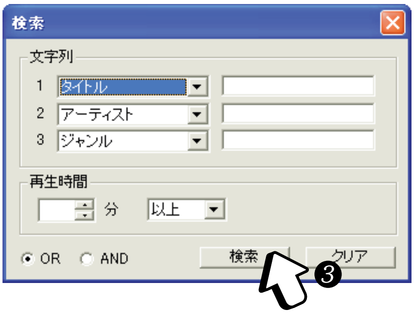
❶ 画面上部の［検索］をクリックする

〈検索〉画面が表示されます。



❷ 条件を入力する

〈検索〉画面



- 検索に必要な項目を入力します。
- 「OR」を選ぶと条件の「いずれか」に当てはまるものが検索されます。
  「AND」を選ぶと条件の「すべて」に当てはまるものが検索されます。
- 「クリア」ボタンをクリックすると設定した条件がクリアされます。

❸［検索］ボタンをクリックする

- 〈HDD画面〉の「曲リスト」に、検索結果が表示されます。
- 表示された検索結果は、再度検索をするかSD-Jukeboxを終了すると消去されます。

❹ ユーザープレイリストとして保存する

「プレイリスト」欄の「最後に検索した結果」を右クリックし、［ユーザープレイリストとして保存］を選ぶと、ユーザープレイリストとして保存できます。

プレイリストを編集する

プレイリスト名を変更する

❶ 変更するプレイリスト名を右クリックする

❷ [プロパティ...] をクリックする

〈プロパティ〉画面が表示されます。

❸ プレイリスト名を変更して [OK] をクリックする

ユーザープレイリストから曲を削除する

❶ 削除する曲を右クリックする

❷ [プレイリストから削除] をクリックする

[プレイリストから削除] を選ぶと、そのユーザープレイリストから曲が外れます。音楽データそのものが消去されるわけではありません。

ユーザープレイリストを削除する

❶ 削除するユーザープレイリストを右クリックする

❷ [プレイリストを削除] をクリックする

ユーザープレイリストの曲順を変更する

❶ 編集するユーザープレイリストを選ぶ

❷ 曲をドラッグ＆ドロップして曲順を移動する

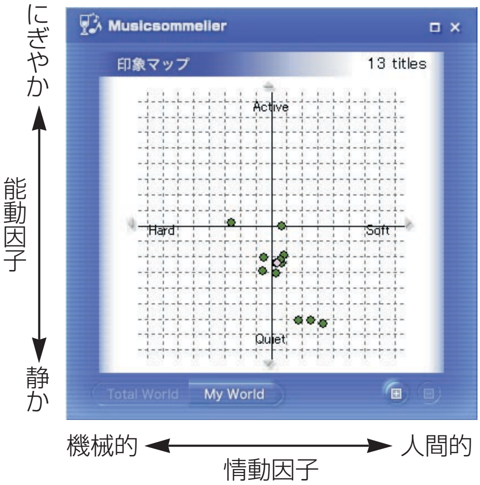
ミュージックソムリエ機能

ミュージックソムリエ機能について

ミュージックソムリエ機能でユーザープレイリストを作ることができます。

SD-Jukeboxでパソコンに曲を録音すると、曲のテンポやビートなどの特徴をもとに、ミュージックソムリエ機能が曲の印象を自動的に判断します。
その印象をもとにして曲を集めて、ユーザープレイリストを作ることができます。ユーザープレイリストに入れる曲を1つずつ選ぶのではなく、印象を選ぶと、印象にあてはまる曲が集められます。
また、選曲パターンだけを選んでランダムに曲を集めることもできます。

ミュージックソムリエが判断した結果は、〈印象マップ〉画面で表されます。〈印象マップ〉画面は、にぎやか、静かなどの「能動因子」と機械的、人間的などの「情動因子」の2次元で構成されています。それぞれの曲は点で表示され、〈印象マップ〉画面で、点の位置がその曲の印象を表します。



お知らせ

- 曲に対する印象には個人差があるため、ミュージックソムリエの選曲が必ずしも個人の好みに合っているとは限りません。
- 音楽以外のデータ（英会話など）も登録することができますが、印象が正しく判断されません。
  録音するときは、「ミュージックソムリエに登録する」のチェックマークを外してください。
- 録音時の状態や雑音によって、ミュージックソムリエの印象が変わることがあります。そのため、同じ曲を2度録音しても、〈印象マップ〉画面で異なる位置に表示される場合があります。

ミュージックザッピング機能について

ミュージックソムリエに登録された曲の特徴部分（さびの部分）をとらえて約20秒間再生する機能です。ミュージックソムリエに登録されていない曲は先頭から約20秒間再生します。（☞38ページ）
多くの曲の中から次々と試聴しながら目的の曲を探す場合などに利用できます。

印象を選んで曲を集める

「ポップ系」「癒し系」など気分に合わせた印象を選ぶと、パソコン内の曲から印象に合った曲が自動的に選ばれます。

1 [ミュージックソムリエ]をクリックする

〈ミュージックソムリエ〉画面が表示されます。



2 印象を選んでクリックする

あてはまる曲がある項目には が表示されます。

〈ミュージックソムリエ〉画面



3 [選曲]ボタンをクリックする

- 〈印象マップ〉画面に選曲の範囲が表示されます。
- 〈HDD画面〉の「曲リスト」に、選曲結果が表示されます。
- 表示された選曲結果は、新たにミュージックソムリエで選曲をするかSD-Jukeboxを終了すると消去されます。

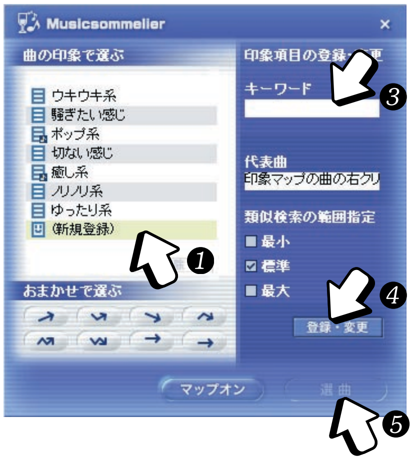
4 ユーザープレイリストとして保存する

「プレイリスト」欄の「印象選曲（ミュージックソムリエ)」を右クリックし、[ユーザープレイリストとして保存]を選ぶと、ユーザープレイリストとして保存できます。

似た印象の曲を集める

代表曲を選んで、その曲の印象に近い曲を集めることができます。

〈ミュージックソムリエ〉画面



❶ 〈ミュージックソムリエ〉画面で「(新規登録)」をクリックする

❷ 〈印象マップ〉画面で代表曲（印象のもとになる曲）を選んで右クリックし、[代表曲として選択]をクリックする

選んだ曲のタイトルが「代表曲」欄に入力されます。

❸ 「キーワード」を入力する

入力した「キーワード」が、新しく登録する印象の名前になります。

❹ [登録・変更] ボタンをクリックする

❸で入力した「キーワード（名前）」が「曲の印象で選ぶ」欄に登録されます。

❺ [選曲] ボタンをクリックする

- 〈HDD画面〉の「曲リスト」に、選曲結果が表示されます。
- 表示された選曲結果は、新たにミュージックソムリエで選曲をするかSD-Jukeboxを終了すると消去されます。

❻ ユーザープレイリストとして保存する

「プレイリスト」欄の「印象選曲（ミュージックソムリエ）」を右クリックし、[ユーザープレイリストとして保存] を選ぶと、ユーザープレイリストとして保存できます。

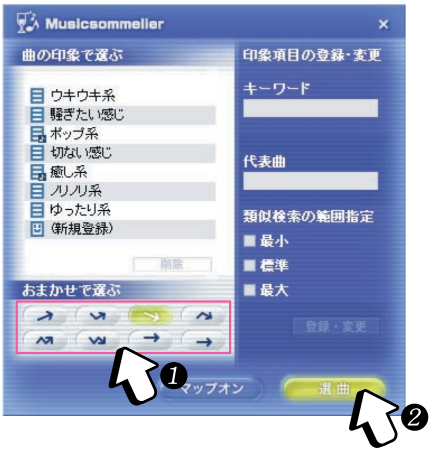
お知らせ

- 新たに登録できる曲の印象は20パターンまでです。
- 〈HDD画面〉で曲を右クリック→ [類似曲を選曲] をクリックすると、似た曲を集めたプレイリストを作ることができます。
- 〈SD〉設定画面の「再生デバイスの選択」で、「SV-SD100V」または「SV-SD90」を選んでいる場合、ミュージックソムリエで作成したプレイリスト名には、プレイリスト名の前に印象情報の識別文字が付加されます。

おまかせで選曲する

「ゆったりした曲からにぎやかな曲へ」「にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲」のように、プレイリスト全体の曲の流れ（選曲パターン）を選ぶと、指定した曲数が、流れに合った曲順で選曲されます。
選曲はランダムに行われるので、同じパターンでも毎回違った曲が選ばれます。

❶〈ミュージックソムリエ〉画面で選曲パターンを選ぶ



❷ [選曲] ボタンをクリックする

- 〈HDD画面〉の「曲リスト」に、選曲結果が表示されます。
- 表示された選曲結果は、新たにミュージックソムリエで選曲をするかSD-Jukeboxを終了すると消去されます。

❸ ユーザープレイリストとして保存する

「プレイリスト」欄の「印象選曲（ミュージックソムリエ)」を右クリックし、[ユーザープレイリストとして保存] を選ぶと、ユーザープレイリストとして保存できます。

お知らせ

〈印象マップ〉画面で曲を選んで右クリックし、[おまかせの選曲の対象とする] のチェックマークを外すと選曲の対象になりません。

パーソナルサラウンド（Ver.4での名称：ハイパーサラウンドシステム）

パーソナルサラウンドについて

パソコンで音楽データを再生するときの環境（スピーカー、ヘッドホン、インサイドホン）に対して最適な音場効果を与え、実際の部屋よりも広い場所で再生しているような広がりを持たせることができます。この機能を「パーソナルサラウンド」と呼びます。
現実の再生環境（パソコンからスピーカーやヘッドホン）を指定し、「音の広がり」や「部屋の広さ」をお好みにあわせて切り替えることで、いろいろな音場効果をお楽しみいただけます。

再生環境と音の効果を設定する

❶ 画面上部の　を右クリックする

〈パーソナルサラウンド〉設定画面が表示されます。



❷ 再生環境と効果設定を選ぶ

詳しい設定については、49ページを参照してください。

❸ [OK］ボタンをクリックする

❹ 　をクリックする

- 　に変わり、音質がサラウンドに切り替わります。
- 再度クリックすると、元に戻ります。



お知らせ

音質が切り替わるまでに2〜3秒かかる場合があります。

漢字カナ変換

※ この機能は、Standard Editionのみでお使いになれます。

漢字から半角カナに変換する

❶ **半角文字に変換したい曲を選ぶ**

❷ **右クリックで「漢字カナ変換」から「変換」を選び、半角文字に変換したい項目を選ぶ**

選んだ曲の全角文字が半角文字に変換され、それぞれ対応する欄に入力されます。

お知らせ

- ライブラリ画面、CD録音画面で変換、登録ができます。
- 「変換」から「すべて」を選ぶと、「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」の全角文字が一度に半角文字に変換されます。
- 「ﾀｲﾄﾙ」欄、「ｱｰﾃｨｽﾄ」欄、「ｱﾙﾊﾞﾑ」欄に入力されているときに、漢字カナ変換すると、変換結果が上書きされます。
- CDDBやTag情報などの漢字を自動的に半角カナに変換します。（☞51ページ）
  変換した半角文字は、「ﾀｲﾄﾙ」欄、「ｱｰﾃｨｽﾄ」欄、「ｱﾙﾊﾞﾑ」欄にそれぞれ入力されます。半角文字を表示させるには38ページを参照してください。
- 変換結果が正しくない場合があります。その際には、手入力してください。（☞21ページ）

アーティスト名をユーザー辞書に登録する

❶ **ユーザー辞書に登録したい曲を選ぶ**

❷ **右クリックで「漢字カナ変換」から「登録」を選ぶ**

お知らせ

- 登録したアーティスト名は、設定画面の「漢字カナ変換」で確認、編集できます。（☞51ページ）
- 事前にアーティスト名を登録しておくと、漢字カナ変換を実行したときに誤変換を防ぐことができます。

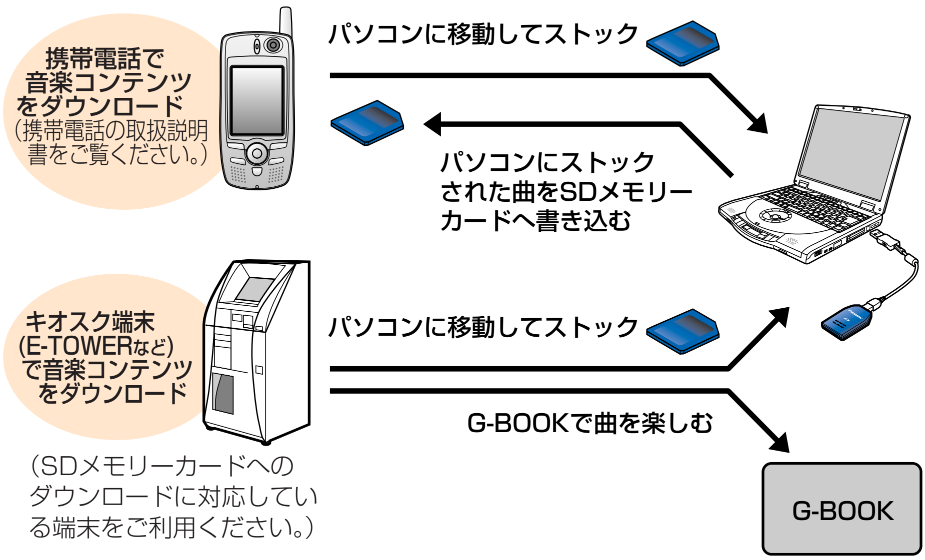
音楽配信サービスを利用する

2005年1月31日現在

音楽配信サービスについて

携帯電話やキオスク端末からSDメモリーカードにダウンロードした音楽コンテンツも使用できます。音楽CDから録音した曲と同様に、SD-Jukeboxを使って、パソコンのハードディスクに移動したり、移動した曲をSDメモリーカードに書き込んだりできます。パソコン上で曲順を編集したり、曲を再生したりすることもできます。

ダウンロードした音楽コンテンツをSDメモリーカードから取り込む



（SDメモリーカードへのダウンロードに対応している端末をご利用ください。）

- G-BOOKについての詳しい情報は、http://g-book.com をご覧ください。
- 「G-BOOK」とはトヨタ自動車（株）が提供する新情報ネットワークサービスです。

音楽コンテンツをパソコンに移動する

携帯電話やキオスク端末を使ってSDメモリーカードにダウンロードした曲(音楽コンテンツ)をパソコンに移動させることができます。

❶ 曲をダウンロードしたSDメモリーカードを、パソコンに接続する

❷ パソコンに移動したい曲を右クリックし、［PCへ移動］をクリックする

選んでいた曲がパソコンに移動されます。



お知らせ

- SDメモリーカードからパソコンに移動した曲は、SDメモリーカード上には残りません。
- パソコンに移動した音楽コンテンツをSDメモリーカードに書き込む場合、右クリックから［SDへ書き込み］を選びます。
- パソコンに移動した曲は、タイトルなどの編集、静止画の添付ができません。

もくじへ

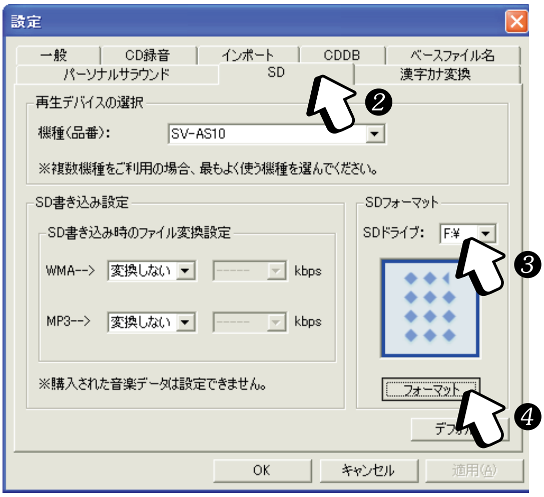
SDメモリーカードのフォーマット

以下の方法でSDメモリーカードをフォーマットしてください。

お願い

- フォーマットすると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。
SD-Jukeboxを使って書き込んだ曲以外のデータも消去されます。フォーマットする前に、必ずSDメモリーカードの内容を確認してください。
- 他のソフトウェアでSDメモリーカードを使っている場合は終了してください。
- 下記の方法以外（パソコンのエクスプローラーなど）でフォーマットしないでください。曲の書き込みや再生ができなくなることがあります。

〈設定〉画面



❶ 画面上部の［設定］をクリックする

〈設定〉画面が表示されます。

❷「SD」タブをクリックする

❸ フォーマットする「SDドライブ」を選ぶ

❹［フォーマット］ボタンをクリックする

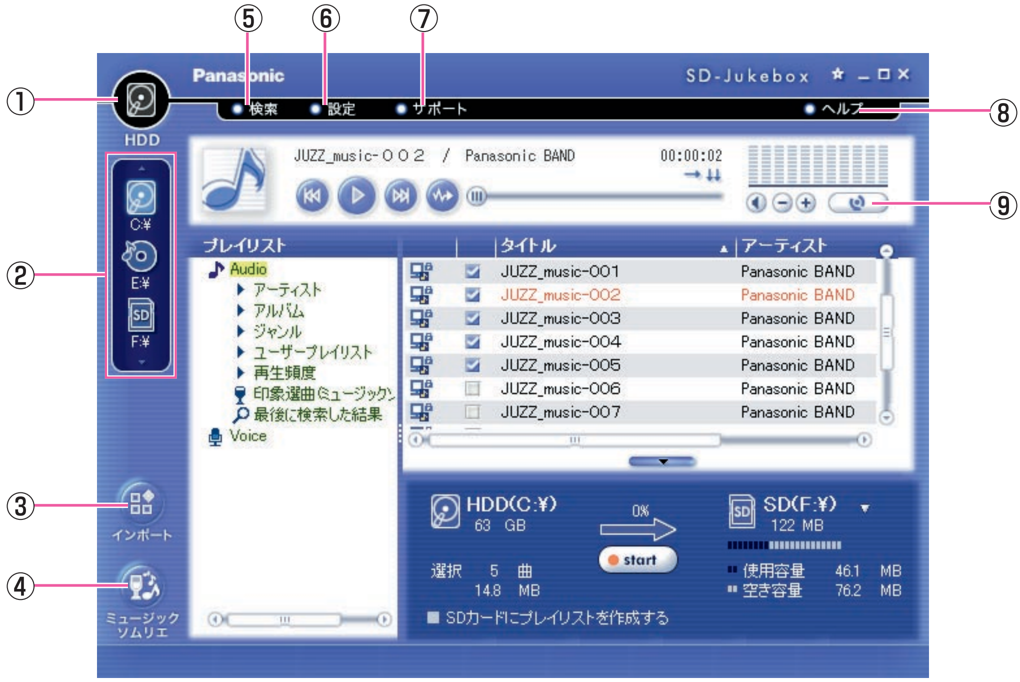
❺ 確認の画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

- フォーマットが始まります。
- フォーマットが終了すると画面でお知らせします。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

画面各部のはたらき

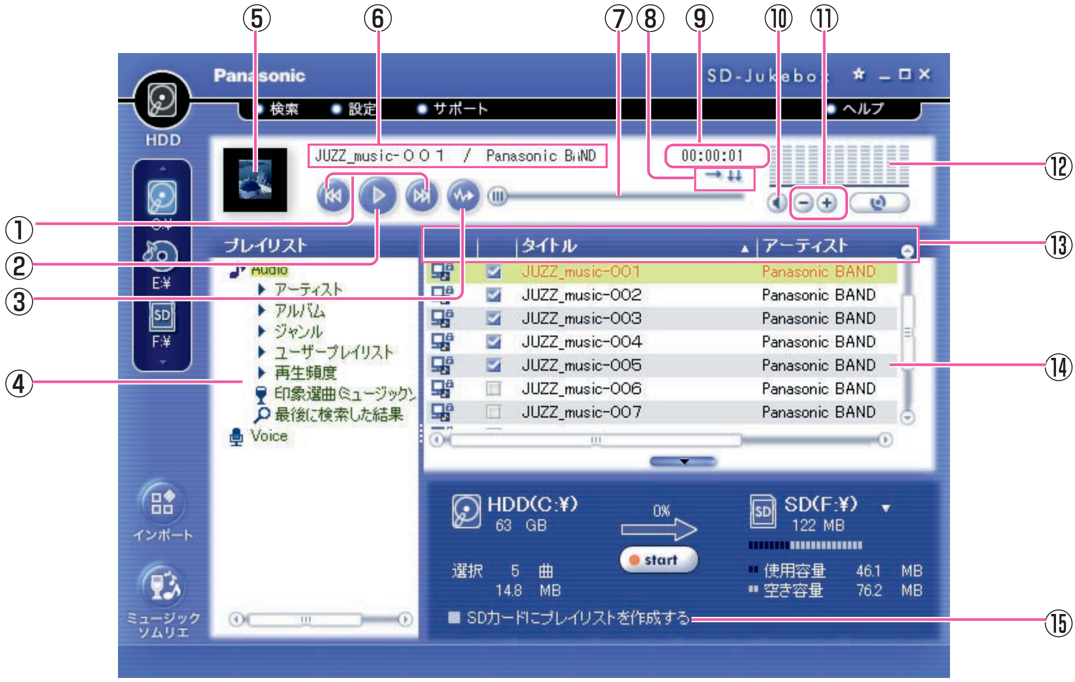


常に表示されているボタンです。

① アクティブデバイス表示ボタン：アクティブなデバイスを表示します
② デバイス選択リスト：HDD（ハードディスク）、CD、SD（SDメモリーカード）を選びます。
③ 〈インポート〉画面を表示します。（☞41ページ）
④ 〈ミュージックソムリエ〉画面を表示します。（☞42ページ）
⑤ 〈検索〉画面を表示します。（☞43ページ）
⑥ 〈設定〉画面を表示します。（☞44ページ）
⑦ 〈サポートページ〉に接続します。
⑧ この取扱説明書とバージョン情報を表示します。
⑨ パーソナルサラウンドの設定（ON/OFF）を行います。（☞32ページ）

画面各部のはたらき

HDD画面



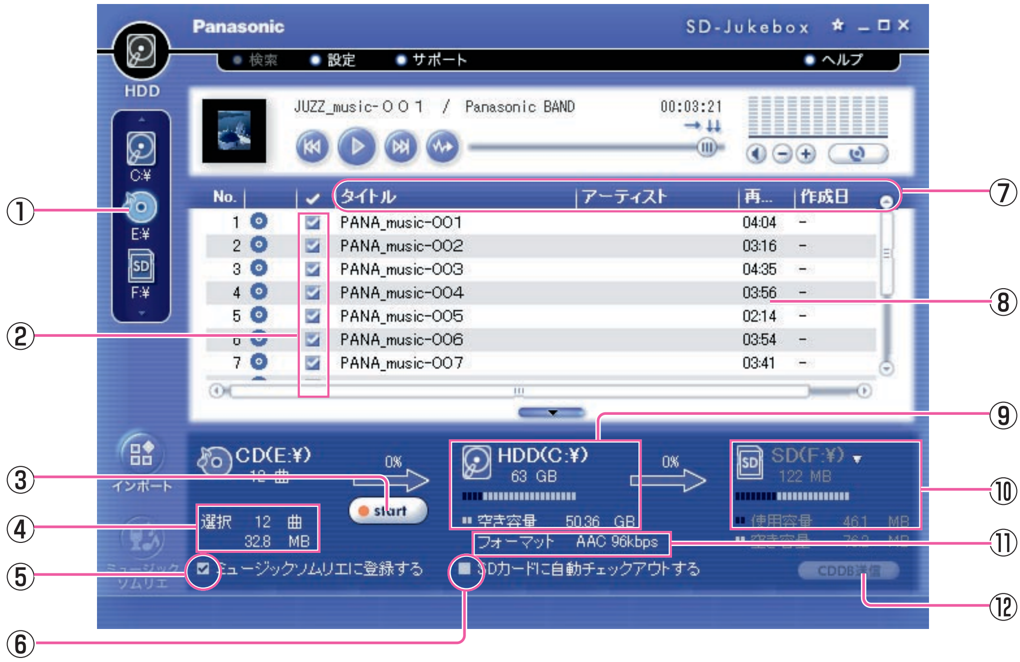
① 前の曲、次の曲の頭出しをします。
② 曲を再生します。
　再生中は⏸になります。クリックすると再生を一時停止し、▶になります。
③ ザッピング再生の設定（ON/OFF）を行います。(☞28ページ)
④ プレイリストを選びます。選んだプレイリストに含まれる曲が⑭に表示されます。
⑤ 曲に添付されている静止画を表示します。ダブルクリックすると別ウィンドウで静止画を表示します。
⑥ タイトル、アーティストを表示します。
⑦ 再生位置を変更します。
⑧ ➡：「曲リスト」のリピートモードを切り替えます。
　　➡（リピートなし）→ ⟲1（1曲リピート）→ ⟲（全曲リピート）
　⇊：再生モードを切り替えます。
　　⇊（通常再生）→ ⤨（ランダム再生）
⑨ 再生位置を時間で表示します。
⑩ ミュートのON/OFFを切り替えます。
⑪ 音量を調節します。
⑫ スペクトルアナライザーを表示します。
⑬ 項目欄をクリックして「曲リスト」の表示順を並べかえます。右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
⑭ 曲リスト：曲情報を表示します。
⑮ SDメモリーカードに曲を書き込むとき、「プレイリスト」欄で選んでいるプレイリストも同時に書き込むことができます。

お知らせ

CD内またはSDメモリーカード内にある曲は、ザッピング再生はできません。

画面各部のはたらき

CD画面



① 録音するCDを選びます。
② 録音する曲にチェックマークを付けます。
③ 録音を始めます。
　録音中は ✕cancel に変わります。
④ 選んでいる曲数と、録音するために必要な容量を表示します。
⑤ ミュージックソムリエの登録（ON/OFF）を行います。
⑥ SDメモリーカードへの自動書き込みの設定（ON/OFF)を行います。
⑦ 右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
⑧ CD内の曲を「曲リスト」に表示します。
⑨ パソコンのドライブの空き容量を表示します。
⑩ SDメモリーカードの空き容量を表示します。
　複数のSDメモリーカードを接続している場合、SDメモリーカードのドライブを選びます。
⑪ 現在設定されている録音形式と音質を表示します。
　変更する場合は〈CD録音〉設定画面で変更します。(☞45ページ)
⑫ 入力または修正したCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。

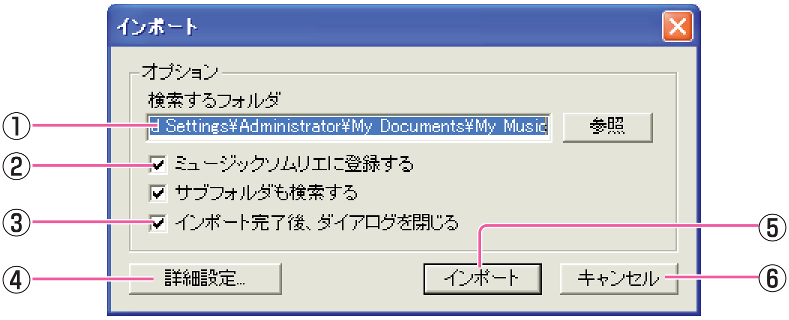
画面各部のはたらき

SD画面



① 再生するSDを選びます。
② 右クリックすると、表示する項目を選ぶことができます。
③ SD内の曲を「曲リスト」に表示します。

〈インポート〉画面

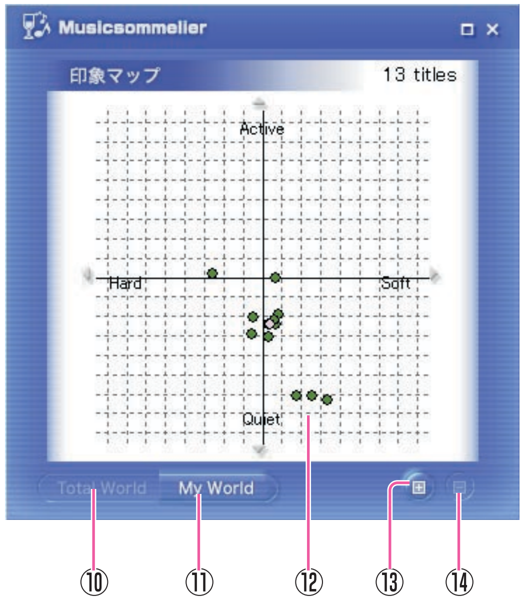


① 取り込みたい音楽データ（ファイル）があるフォルダーを選びます。
② ミュージックソムリエの登録（ON/OFF）を行います。
③ チェックマークを付けると、インポート終了後に〈インポート〉画面を閉じます。
④ 〈インポート〉設定画面を表示します。(☞46ページ)
⑤ 取り込みを始めます。
⑥ 取り込みを中止します。

画面各部のはたらき

〈ミュージックソムリエ〉画面





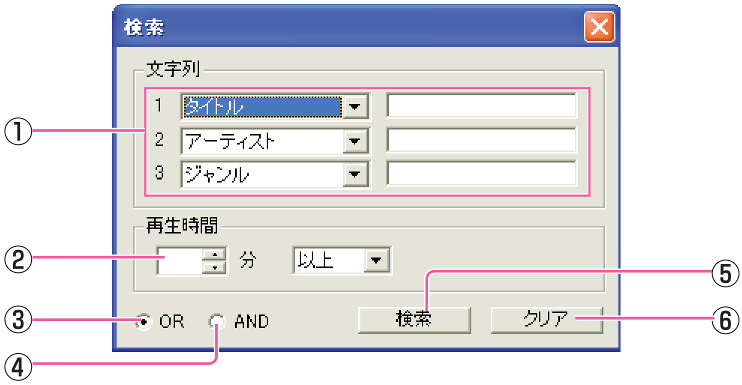
① 印象を選びます。
② 登録した印象を削除します。
③ おまかせ選曲の選曲パターンを選びます。

	：ゆったりした曲からにぎやかな曲へ
	：にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲
	：にぎやかな曲からゆったりした曲へ
	：ゆったりした曲→ にぎやかな曲→ゆったりした曲
	：ゆったりした曲→にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲
	：にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲→ゆったりした曲
	：にぎやかな曲のみ
	：ゆったりした曲のみ

④ 〈印象マップ〉画面のON/OFFを切り替えます。
⑤ 印象の名前になるキーワードを入力します。
⑥ 印象のもとになる代表曲が表示されます。
⑦ 選曲の範囲を設定します。
⑧ 入力した内容を、印象として登録します。
⑨ 選曲します。
⑩ 〈印象マップ〉画面全体を表示します。
⑪ 曲がある部分を大きく表示します。
⑫ それぞれの曲を〈印象マップ〉画面の点で表します。
再生中は点の色が変わり、曲名が表示されます。
⑬ 〈印象マップ〉画面を拡大して表示します。
⑭ 〈印象マップ〉画面を縮小して表示します。

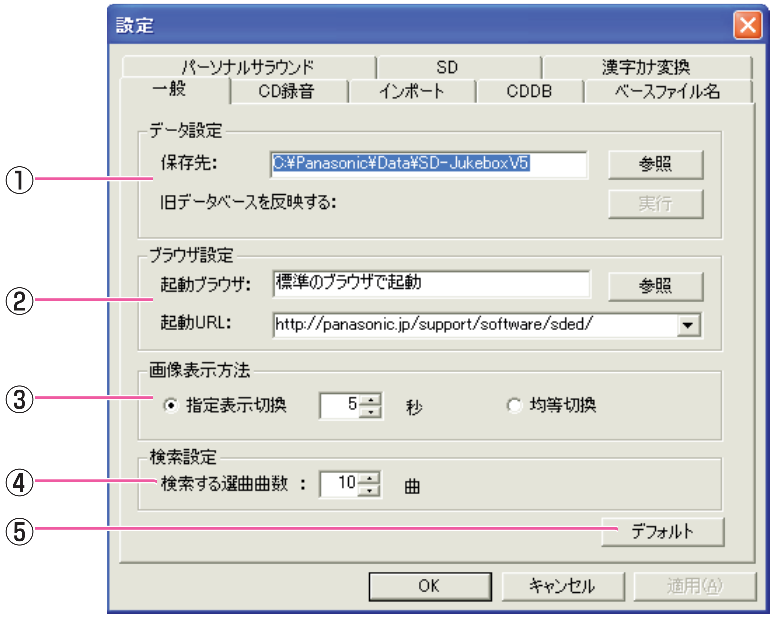
画面各部のはたらき

〈検索〉画面



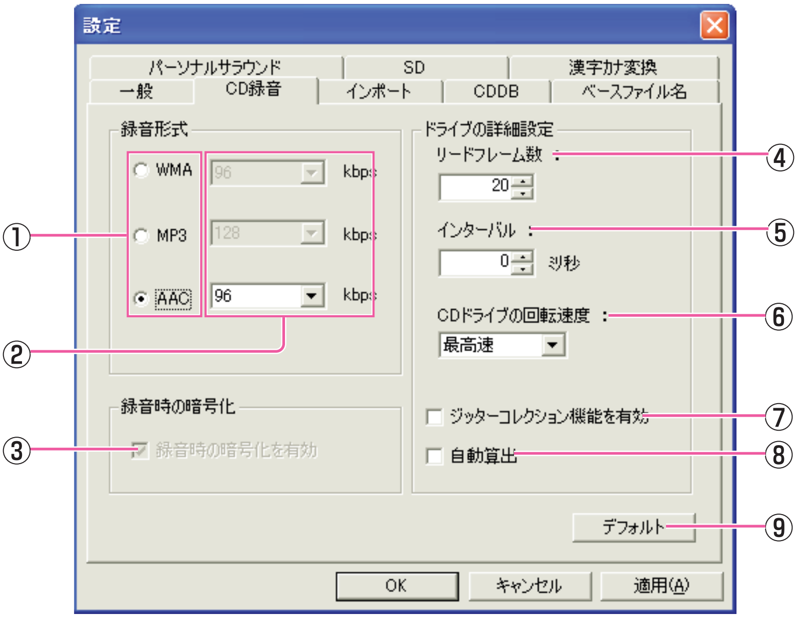
① 「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」を指定します。
② 曲の再生時間を指定します。
③ 条件のいずれかに当てはまるものが検索されます。
④ 条件のすべてに当てはまるものが検索されます。
⑤ 検索を始めます。
⑥ 入力した条件を消去します。

〈一般〉設定画面



① 音楽データの保存場所を設定します。
旧データベース（Ver.4.0）がある場合、「旧データベースを反映する」の［実行］ボタンをクリックしてください。
② 画面上部の［サポート］から表示されるブラウザとURLを設定します。
③ 曲に添付されている静止画の再生中の表示間隔を設定します。
④ 検索した結果、表示される曲数を設定します。
⑤ 初期設定に戻します。

〈CD録音〉設定画面



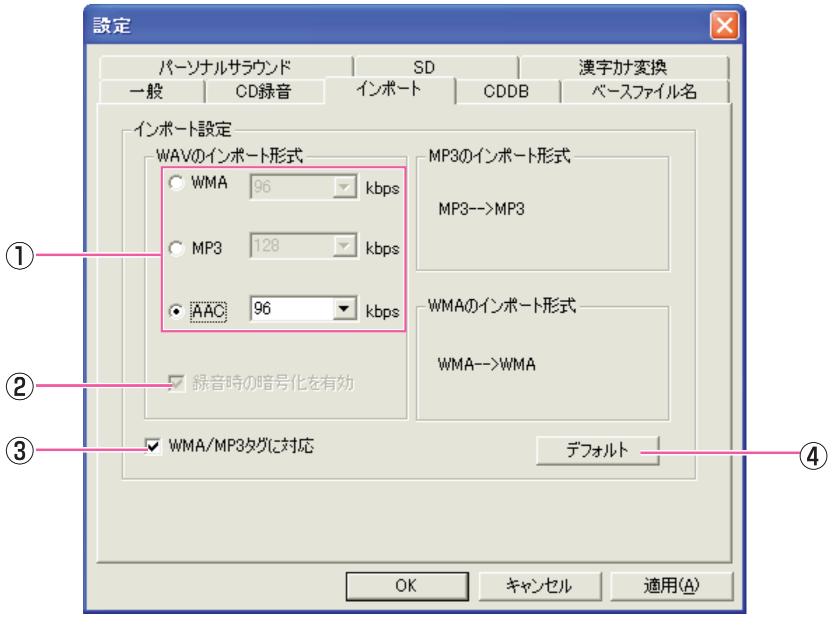
① CD録音時の録音形式を設定します。
② CD録音時の音質を設定します。
③ 録音する音楽データの暗号化を設定します。
④ 音楽CDを読み込む際の１度に読みこむフレーム数を指定します。
⑤ 連続読み込みするCDドライブのインターバル時間を設定します。値を大きくすると録音時間が長くなります。
⑥ CDドライブの回転速度を設定します。
⑦ ジッターコレクション機能（音楽CDを読み込む際にオーバーラップさせてCDドライブのジッターを吸収する機能）の設定を行います。
⑧ CDドライブの特性を自動的に算出し、最適な設定にします。チェック後の最初の録音時のみ自動算出します。
⑨ 初期設定に戻します。

お知らせ

- 「ドライブの詳細設定」は通常変更しないでください。
- Light EditionではMP3形式への録音ができません。
- 「CD録音設定」の「ビットレート（kbps)」の数値が大きいほど高音質になります。
  ただし、メモリー容量が多く必要になります。
- 以下の表は、64 MBのSDメモリーカードに録音するときの、録音可能時間の目安です。

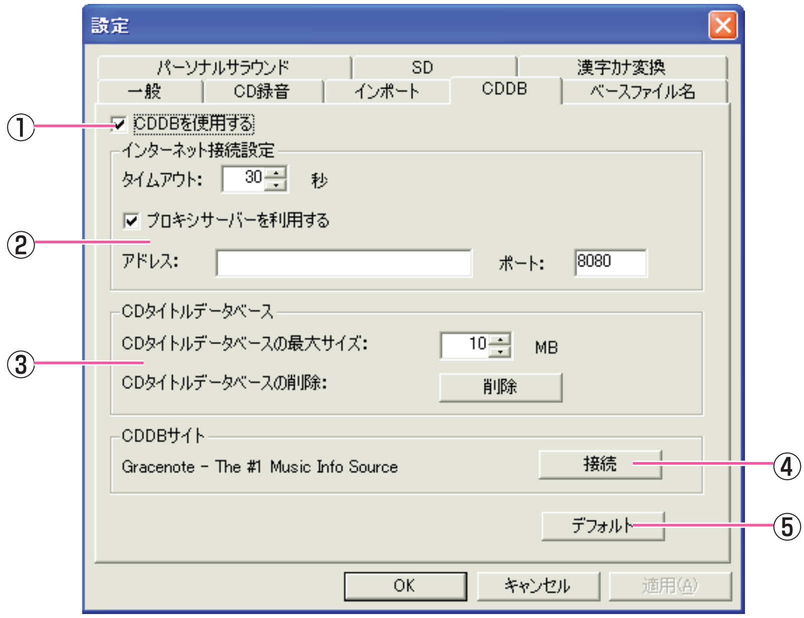
	ビットレート	時間
高音質	128 kbps	約64分
標準の音質	96 kbps	約86分
長時間録音	64 kbps	約129分

〈インポート〉設定画面



① WAV形式の音楽データ（ファイル）の取り込み方法を設定します。
② 録音する音楽データの暗号化を設定します。
③ 音楽データ（ファイル）が持つ文字情報も取り込むかどうかを設定します。
④ 初期設定に戻します。

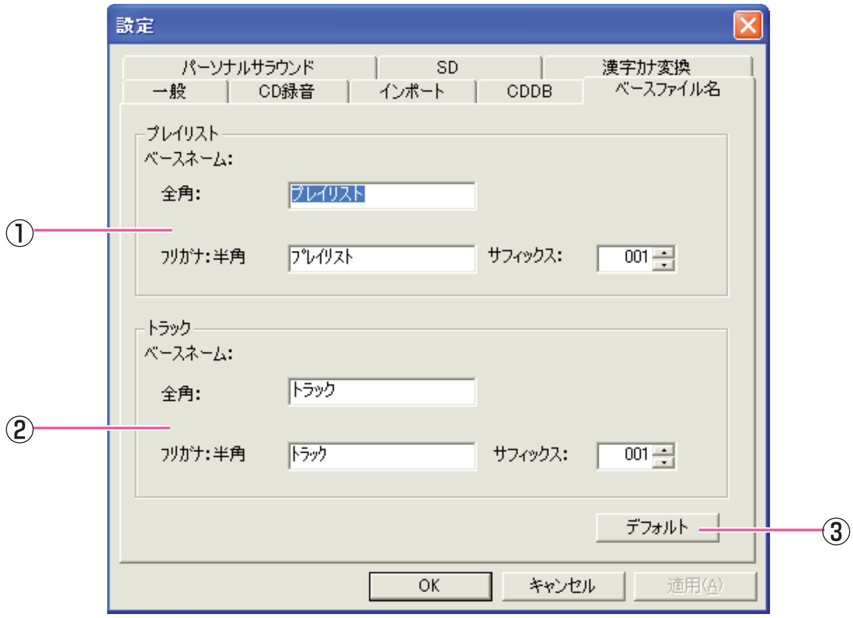
〈CDDB〉設定画面



① CDDBを使用するかどうかを設定します。
② インターネットに関する設定をします。
CDDBを使用する場合は、必要に応じてプロキシの設定を行ってください。
プロキシサーバーを利用する：プロキシサーバーを利用する場合は、チェックマークを付けます。
アドレス、ポート：IPアドレスとポートナンバーを入力してください。
- ネットワーク管理者にアドレスとポート番号を確認してください。
- インターネット接続で問題があった場合は、プロバイダーなどインターネット接続サービス会社にご相談ください。

③ パソコンに保存されるタイトルのデータベースについて設定します。
④ CDDBのWebサイトに接続します。
⑤ 初期設定に戻します。

〈ベースファイル名〉変更画面



① ベースネーム：プレイリストを作成したときに付けられる名前を設定します。
　サフィックス：ベースネームの後に付けられる番号の初期値を設定します。
② ベースネーム：CDDBを使用していない場合に、CDから録音した曲に付けられる名前を設定します。
　サフィックス：ベースネームの後に付けられる番号の初期値を設定します。
③ 初期設定に戻します。

〈パーソナルサラウンド〉設定画面

①
②

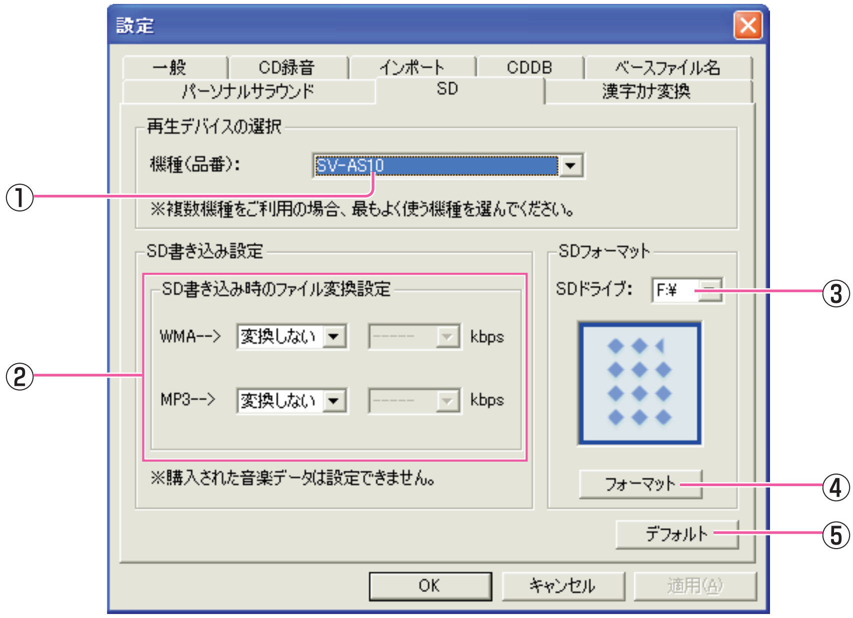

① 音楽データをスピーカーで聞くのか、ヘッドホンで聞くのかを選びます。
　スピーカーで再生する場合、「スピーカーの設置角度」で自分から見たスピーカーの角度を選びます。
　ヘッドホンで再生する場合、「ヘッドホンの種類」から種類を選びます。
② 再生する仮想空間を設定します。
　音の広がり―仮想空間での音の広がり方を選びます。
　音質 ―――パソコンの能力に合わせて音質を選びます。
　部屋の広さ―音楽を聴く仮想空間の広さを選びます。

お知らせ

- お使いになる環境によっては実際の効果は異なります。
- 「効果設定」の「音質」を「最高」にすると、パーソナルサラウンドの効果を最大限に得ることができます。ただし、お使いのパソコン環境によっては、処理能力の不足により音とびなどが発生することがあります。このような場合には、「音質」の「高」または「標準」を選択することで、音とびなどの現象が改善される場合があります。
  また、「標準」を選択しても音とびが発生する場合は、パーソナルサラウンドのご利用を停止してください。
- 「再生環境」の「スピーカーの設置角度」の目安は、以下の通りです。
  小：約25°
  中：約30°
  大：約45°
- 「効果設定」の「部屋の広さ」の目安は、以下の通りです。
  ROOM-S：約8畳
  ROOM-M：約12畳
  ROOM-L：約16畳

画面各部のはたらき

〈SD〉設定画面



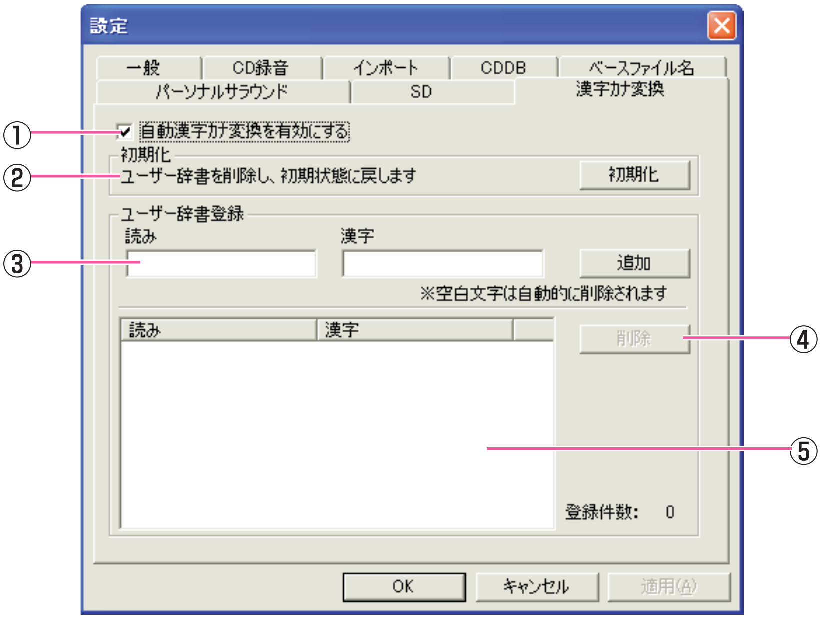
① お使いになる再生機器を選びます。
② SDメモリーカードに書き込むとき、曲のファイル形式をAAC形式へ変換できます。
③ フォーマットするSDメモリーカードのドライブを選びます。
④ SDメモリーカードのフォーマットを実行します。
⑤ 初期設定に戻します。

お知らせ

- 「SD書き込み時のファイル変換設定」では、VoiceコンテンツからAudioコンテンツへ、またはAudioコンテンツからVoiceコンテンツへ変換することはできません。
  また、元データ（変換前のデータ）のビットレートより高いビットレートを設定しても音質は変わりません。
- 「再生デバイスの選択」で次の機種を選ぶと、書き込みたい曲に静止画が添付されている場合には、静止画もSDメモリーカードに書き込まれます。
  静止画表示対応機種：SV-AS30/AS3、SV-AS10、SV-AV50/AV35/AV30
  （2005年1月31日現在）

〈漢字カナ変換〉画面

※ この機能は、Standard Editionのみでお使いになれます。



① 自動的に全角文字を半角文字に変換するかどうかを設定します。
② ユーザー辞書を初期化します。
③ 新たに登録したいアーティスト名の「読み」と「漢字」を入力します。
④ 左のアーティスト名一覧で選んだアーティスト名を削除します。
⑤ ユーザー辞書に登録されているアーティスト名の「読み」と「漢字」が表示されます。
選んでいるアーティスト名をクリックすると、編集ができます。

お知らせ

- 事前にアーティスト名を登録しておくと、漢字カナ変換を実行したときに誤変換を防ぐことができます。
- アーティスト名の登録は、ライブラリ画面、CD録音画面でもできます。(☞ 33ページ)

対応するデータ形式

SDメモリーカードへ出力可能な音楽データ

出力形式 / 入力形式		WMA (2チャンネル・ステレオ) 48～192 kbps	WMA (モノラル) 20 kbps/32 kHz, 32 kbps/44.1 kHz	AAC (2チャンネル・ステレオ) 64 kbps / 96 kbps / 128 kbps	MP3 (2チャンネル・ステレオ) 32～192kbps, VBR (32～192kbps)	MP3 (モノラル) 16,24, 32 kbps
音楽CD	CD-DA CD-EXTRA	○ (64,96,128,160,192)	○ (32)	○	○※ (64,96,128,192,VBR)	×
WMA (2チャンネル・ステレオ)	44.1/48 kHz 48 kbps～192 kbps	○	×	×	×	×
WMA (モノラル)	20 kbps/32 kHz, 32 kbps/44.1 kHz	×	○	×	×	×
WMA (可変ビットレート)		×	×	×	×	×
WMA (可逆圧縮)		×	×	×	×	×
MP3 (2チャンネル・ステレオ)	16/22.05/24 kHz 32 kbps～192 kbps	×	×	×	○	×
	32 kHz/32 kbps～192 kbps	×	×	×	○	×
	44.1 kHz/32 kbps～192 kbps	×	×	×	○	×
	48 kHz/32 kbps～192 kbps	×	×	×	○	×
	VBR (32～192kbps)	×	×	×	○	×
MP3 (モノラル)	22.05 kHz 16 kbps/24 kbps/32 kbps	×	×	×	×	○
WAV (16ビット ステレオ)	16(62),24(93), 32 kHz (125 KB/秒)	○ (64,96,128,160,192)	○ (32)	×	○※ (64,96,128,192,VBR)	×
	44.1 kHz (172 KB/秒)			○		

• MP3→セキュアMP3変換、およびWMA→セキュアWMA変換ではサンプリング周波数、ビットレートの変換は行いません。
• 対応する形式すべてについて、動作保証するものではありません。

※ Standard Editionのみ

アンインストールする

ソフトウェア（SD-Jukebox）をパソコンから削除して使えなくすることを、「アンインストール」といいます。
再生機器またはSDカードリーダーライターをパソコンから取り外してからアンインストールを始めてください。
SD-Jukeboxが起動している場合は、終了してください。

**❶ Windowsの「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選ぶ
または「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選ぶ**

❷「プログラムの追加と削除」をクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

❸ [SD-JukeboxV5] をクリックし、[変更と削除] ボタンをクリックする

❹ [OK] をクリックする

SD-JukeboxV5が削除され、確認の画面が表示されます。

❺ [完了] ボタンをクリックする

困ったときのQ&A

おかしいな?と思ったら、本章をご参照ください。以下のホームページから最新のQ&A情報もご覧いただけます。

http://panasonic.jp/support/software/sded/

また、お使いのパソコンによる原因も考えられますので、お使いのパソコンの取扱説明書も参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

■ インストールおよび起動時

こんなときは	ここをお調べください
起動できない	SD-Jukeboxを再インストールしてお試しください。その際、すべての常駐ソフト、ソフトウェア、スクリーンセーバーなどを一旦停止し、周辺機器やネットワークなどを取り外した上で、再インストールを実施し、起動してください。
起動時や操作時にパソコンがリセット（再起動）されるまたは、ブルーバックになる	次の対策で改善される場合があります。 ● **メーカー製パソコンの場合** • パソコン本体の修正ソフトが提供されている場合があります。各メーカーのホームページで確認してください。 ● **自作パソコンの場合** • マザーボードのBIOSのバージョンが最新になっているか確認してください。 • 各種ドライバーソフトが最新になっているか確認してください。 • BIOS設定をデフォルトに戻して、試してください。
起動時に「インターネットに接続できないのでCDDBが使用できません。････」と表示される	• インターネットに接続できていることを確認してください。 • プロバイダーからプロキシの設定を指示されている場合は、〈設定〉画面の〈CDDB〉設定でプロキシの設定を行ってください。 （☞47ページ「〈CDDB〉設定画面」）
起動時に「CDDB機能に必要なモジュールが見つかりません。････」と表示される	① 実行に必要なモジュールが破損している可能性があります。SD-Jukeboxを再度インストールしなおしてください。 ② 上記再インストールで改善しない場合、Windows標準ファイルであるregsvr32.exeが C:¥WINDOWS¥system32の下に存在するか確認してください。 上記Windows標準ファイルがない場合、Windowsが破損している可能性があります。

■ CD録音時およびファイル取り込み時

こんなときは	ここをお調べください
CDを認識できない	① Windows Media Playerなど他のジュークボックスソフトで、CDの音楽再生ができることを確認してください。できない場合は、そのCD-ROMドライブメーカーもしくはパソコンメーカーに問い合わせてください。 ② 挿入されているCDが COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入っているものか確認してください。 ③ 他のCD再生ソフトが起動している場合は、それを終了してください。
ファイル取り込みができない（MP3ファイルなど）	取り込み（インポート）可能なファイル形式の音楽データかどうか確認してください。著作権保護のために暗号化された音楽データや未対応の音楽データは、取り込めません。
CDDBからタイトルが取れない	SD-Jukeboxの〈設定〉画面から、下記のCDDB設定を確認してください。 • 「CDDBを使用する」にチェックマークが付いていることを確認してください。 • プロキシサーバーの設定が正しいかどうか確認してください。 なお、CDDBに登録されていないCDや個人で編集制作したCD-Rは、楽曲情報の取得はできません。
ID3タグは、どのように対応していますか？	SD-JukeboxV5では、MP3のID3タグ V1/V2に対応しており、ID3タグV2→V1の順にタグ情報を取得しています。したがって、ID3タグ V2がある場合、V1のタグ情報は表示されません。

■ 再生時またはSDメモリーカードへの書き込み時

こんなときは	ここをお調べください
再生中に音飛び、音途切れが発生する	SD-Jukeboxでの再生で、音飛びや音途切れが発生する場合、ハードディスクのデフラグを実施すると改善される場合があります。 また、Windows Media Playerなど他のジュークボックスソフトでも同様の症状が出る場合は、各パソコンメーカーに問い合わせてください。
SDメモリーカードが認識されない	**① まず、SDカードリーダーライターが「著作権保護機能対応」であるか確認してください** 当社製以外の再生機器またはSDカードリーダーライターでの動作は保証しません。 **② WindowsのエクスプローラではSD認識できるが、SD-JukeboxではSDを認識しない場合** SDカードリーダーライターのドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。ドライバーの再インストールを試してください。 **③ WindowsのエクスプローラからSDが認識できない場合** ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。
SDメモリーカードへの書き込みができない	① SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていると、書き込みはできません。「LOCK」を解除してください。 ② SDメモリーカードと形状がよく似たMMCは、SDオーディオ再生機器ではお使いになれません。 ③ SD-JukeboxからSDメモリーカードが認識できているか確認してください。認識されていない場合、上記項目の「SDメモリーカードが認識されない」を参照してください。
削除できない	① SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていると削除できません。「LOCK」を解除してください。 ② SD-JukeboxからSDメモリーカードが認識できているか確認してください。認識されていない場合、上記項目の「SDメモリーカードが認識されない」を参照してください。
チェックインができない	① SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていると、チェックインはできません。「LOCK」を解除してください。 ② 他のパソコンで書き込んだ曲は、チェックインできません。 ③ 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体で録音した曲が移動禁止になっていることがあります。 移動禁止になっている曲は、パソコンに移動できません。 ④ SD-JukeboxからSDメモリーカードが認識できているか確認してください。認識されていない場合、上記項目の「SDメモリーカードが認識されない」を参照してください。

もくじへ

■ SDメモリーカードについて

こんなときは	ここをお調べください
認識されない 「デバイス選択リスト」で「SD」が表示されない	SDメモリーカードが認識されない場合、以下の順番で確認してください。 ① SDメモリーカードを再生機器またはSDカードリーダーライターに正しく入れているか確認してください。 ② 再生機器またはSDカードリーダーライターをパソコンに正しく接続しているか確認してください。 ③ 再生機器またはSDカードリーダーライターの抜き差しをしてください。 上記の項目を実施してもSDメモリーカードが認識されない場合、パソコンを再起動してみてください。
パソコンに接続した再生機器またはSDカードリーダーライターのドライブが表示されない	パソコンのIRQ（割り込みレベル）が競合している場合があります。 ① Windowsの「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする。 ② 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をクリックする。 ③ 「ハードウェア」のタブをクリックする。 ④ 「デバイスマネージャ」をクリックし、不要なデバイスを無効にする。 ⑤ 再生機器またはSDカードリーダーライターを取り外し、パソコンを再起動する。 ⑥ 再生機器またはSDカードリーダーライターを接続する。

■ その他、全般

こんなときは	ここをお調べください
コピーコントロールCD・レーベルゲートCDについて	SD-Jukeboxは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽CDに対応しております。コピーコントロールCD・レーベルゲートCDからの録音に関する動作は、保証しません。音楽ディスクに関しては、各レコード会社に問い合わせてください。
SDメモリーカードのフォーマットができない	• SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」でないことを確認してください。 • エクスプローラからSDが認識でき、読み書きができるか確認してください。できない場合、56ページ「SDメモリーカードが認識されない」を参照してください。 • 〈設定〉画面からのフォーマット以外の方法でSDカードをフォーマットしないでください。 SD-Jukeboxで使用できなくなる可能性があります。
ミュージックソムリエに曲が登録されない	• 録音や音楽データを取り込むとき、「ミュージックソムリエに登録する」のチェックマークが付いているかを確認してください。 • 極端に短い曲（約20秒以下）の場合、ミュージックソムリエに登録できません。
SD-Jukeboxに取り込んだコンテンツのバックアップを取るには	以下のデータをバックアップしてください。 • 取り込んだ曲などのデータ • データベースファイル 詳しい手順については、以下のホームページのQ&Aをご覧ください。 http://panasonic.jp/support/software/sded/
SD-Jukeboxの動作が遅くなるまたは、リソース不足のメッセージが表示される	他のソフトウェアを同時に起動している場合、リソース不足になったり、動作が遅くなる可能性があります。SD-Jukebox以外に起動しているソフトウェアがある場合は、終了してください。
携帯電話のご利用について	• SD-JukeboxからSDメモリーカードへ書き込んだ音楽データを楽しむことができます。 対応機種に関しては、以下のホームページを参照してください。 http://panasonic.jp/support/software/sded/ • SD-Jukeboxを利用せずに、音楽ファイルをSDメモリーカードにコピーしても再生はできません。

用語の説明

AAC ················· 「Advanced Audio Coding」の略でMPEG-2またはMPEG-4で採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。この方式により、高圧縮率でしかも高品質の音楽再生が可能です。

CDDB ··············· CDのアーティスト名やアルバムタイトルなどの情報を米Gracenote社のデータベースよりダウンロードするサービスです。

CD TEXT ··········· 音楽用のCDに曲名などの文字情報を記録する規格。

MP3 ················· 「MPEG1 AUDIO Layer3」の略でMPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。MPEG1 AUDIOには、Layer1、Layer2、Layer3の3つの方式が規格化されており、Layer3の圧縮率が最も高く、インターネットなどで使われています。
MPEGは「Moving Picture Experts Group」の略でマルチメディア圧縮符号化を行っている組織が作成した標準規格です。

SDメモリーカード ·· 著作権保護機能を内蔵したメモリーカード。

WMA ················ WMAは「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

- 本製品、およびパソコンの不具合により、録音ができない場合や音楽データが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、OSがWindows XP(Home Edition)のときの操作例を使って説明しています。また、本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。

- SDロゴは商標です。
- miniSDはSDアソシエーションの商標です。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Windows Media、Windowsロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、 Pentium および Celeron はIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- 音楽認識技術と音楽関連データはGracenote®とGracenote CDDB®音楽認識サービスによるものです。
  Gracenoteは音楽認識技術と音楽付帯情報配信における業界標準です。詳細はwww.gracenote.comまで。
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  米国特許番号No.5,987,525、No.6,061,680、No.6,154,773、No.6,161,132、No.6,230,192、No.6,230,207、No.6,240,459、No.6,330,593、上記以外のものについては特許出願中。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  "Gracenote"、"CDDB"、"Powered by Gracenote" ロゴおよびロゴ表記はGracenoteの商標です。
- MPEG Audio Layer3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomson multimediaからライセンスを受けています。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部明記していません。
- Licensed AAC Patents (U.S. patent numbers);

08/937,950	5,394,473	5,579,430	5,481,614	5,299,238	5,581,654
5848391	5,583,962	08/678,666	5,592,584	5,299,239	05-183,988
5,291,557	5,274,740	98/03037	5,781,888	5,299,240	5,548,574
5,451,954	5,633,981	97/02875	08/039,478	5,197,087	08/506,729
5 400 433	5 297 236	97/02874	08/211,547	5,490,170	08/576,495
5,222,189	4,914,701	98/03036	5,703,999	5,264,846	5,717,821
5,357,594	5,235,671	5,227,788	08/557,046	5,268,685	08/392,756
5 752 225	07/640,550	5,285,498	08/894,844	5,375,189	

松下電器産業株式会社

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

MSC0125CD_J_ZA　　MS0205KH0

Panasonic

SD-Jukebox Ver. 5

取扱説明書

Voice編

Voiceコンテンツについて

SD-JukeboxでVoiceコンテンツ(WAV G.726)の再生、パソコンとSDメモリーカード間のコピーができます。
この取扱説明書では、Voiceコンテンツの操作について説明しています。
(WAV G.726については ☞ 裏表紙)

お知らせ

Voiceコンテンツには、以下の制限があります。
- ユーザープレイリストに登録できません。
- ミュージックソムリエに登録できません。
- 「検索」、「再生頻度」の対象になりません。
- パーソナルサラウンド(Ver.4での名称:ハイパーサラウンドシステム)の対象になりません。
- スペクトルアナライザーは表示しません。

もくじ

MSC0126CD_J_ZA　　MS0205KH0

Voiceコンテンツを再生する

SD-Jukeboxを使って、Voiceコンテンツの再生ができます。

お願い

SDメモリーカード内のVoiceコンテンツを再生しているとき、SDメモリーカードを取り出さないでください。

SDメモリーカード内のVoiceコンテンツを再生する

1 SDメモリーカードを接続する

2 「デバイス選択リスト」の[SD]をクリックし、「プレイリスト」欄の「Voice」をクリックする

Voiceコンテンツが表示されます。

3 再生したいVoiceコンテンツを選ぶ



4 [▷]をクリックする

- Voiceコンテンツの再生が始まります。「Voice」内のVoiceコンテンツの再生がすべて終了すると、自動的に停止します。
- 再生したいVoiceコンテンツをダブルクリックすると、そのVoiceコンテンツから再生が始まります。

お知らせ

「WAV G.726」以外のVoiceコンテンツは再生できません。

パソコン内のVoiceコンテンツを再生する

パソコン内のVoiceコンテンツを再生する場合、手順❷のときに「デバイス選択リスト」の[HDD]をクリックして「Voice」をクリックします。



Voiceコンテンツをコピーする

SDメモリーカードとパソコンの間でVoiceコンテンツのコピーができます。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

SDメモリーカードからパソコンへコピーする

❶ SDメモリーカードを接続する

❷ 「デバイス選択リスト」の SD をクリックし、「Voice」をクリックする

Voiceコンテンツが表示されます。

❸ Voiceコンテンツを右クリックし、[PCへコピー]をクリックする

Voiceコンテンツが、〈HDD画面〉の「Voice」にコピーされます。



お知らせ

「WAV G.726」以外のVoiceコンテンツはコピーできません。

パソコンからSDメモリーカードへコピーする

パソコン内のVoiceコンテンツを、SDメモリーカードへ書き込みます。



❶ **SDメモリーカードを接続する**

❷ **「デバイス選択リスト」の をクリックし、「Voice」をクリックする**

Voiceコンテンツが表示されます。

❸ **書き込みたいVoiceコンテンツに （チェックマーク）を付ける**

❹ **SDのドライブと空き容量を確認する**

❺ **start をクリックする**

- SDメモリーカードへの書き込みが始まります。
- 書き込みを途中でやめるには cancel をクリックします。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

Voiceコンテンツを取り込む

パソコン内に保存されているVoiceコンテンツ（WAV G.726）をSD-Jukeboxに取り込みます。

お知らせ

- 「WAV G.726」以外のVoiceコンテンツは取り込めません。
- インポートが始まると「進行状況」が表示されます。（☞ 6ページ）

フォルダーごとインポートする

❶ [インポート] をクリックする



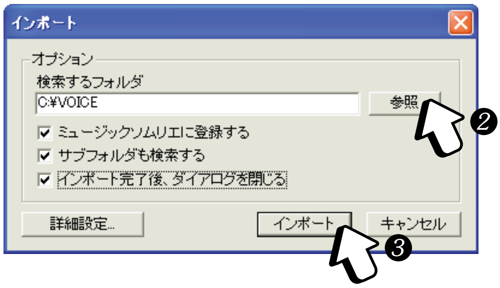
〈インポート〉画面が表示されます。

❷ [参照] ボタンをクリックし、取り込むVoiceコンテンツを保存しているフォルダーを選んで [OK] をクリックする

❸ [インポート] ボタンをクリックする

- 〈進行状況〉画面が表示され、取り込みが始まります。（☞ 6ページ）
  フォルダー内にあるVoiceコンテンツおよびAudioコンテンツがすべて取り込まれます。
- 取り込みを途中でやめるには［キャンセル］ボタンをクリックします。

〈インポート〉画面



お知らせ

- 〈インポート〉画面の「ミュージックソムリエに登録する」にチェックマークをつけても、Voiceコンテンツはミュージックソムリエに登録できません。
- フォルダー内にMP3形式、WMA形式、WAV形式の音楽データ（ファイル）がある場合、それらも同時にSD-Jukeboxに取り込まれます。

ファイル単位でインポートする

❶「デバイス選択リスト」のをクリックし、「Voice」をクリックする

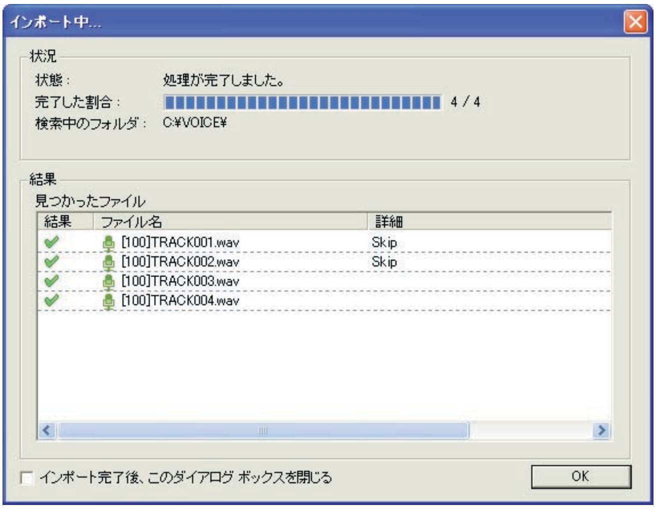
❷ Windowsエクスプローラなどで取り込むVoiceコンテンツを選び、〈HDD画面〉の「Voiceリスト」にドラッグ&ドロップする

お知らせ

〈進行状況〉画面にインポート結果が表示されます。

- ✔：正常にVoiceコンテンツのインポートが終了、またはすでにVoiceコンテンツがインポート済みの場合に表示されます。インポート済みの場合、「詳細」欄に「Skip」が表示されます。
- ✘：Voiceコンテンツのインポートが失敗した場合に表示されます。

〈進行状況〉画面



Voiceコンテンツを削除する

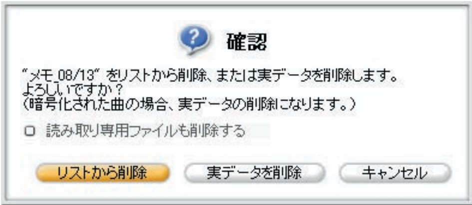
❶ 削除するVoiceコンテンツを右クリックする

❷ ［削除］をクリックする

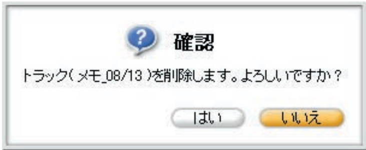
確認の画面が表示されます。

❸ 確認の画面から削除方法を選ぶ

内のVoiceコンテンツを削除すると、右のような確認の画面が表示されます。
［実データを削除］ボタンをクリックすると、パソコン内のVoiceコンテンツそのものが消去されます。



内のVoiceコンテンツを削除すると、右のような確認の画面が表示されます。
［はい］ボタンをクリックすると、SDメモリーカード内のVoiceコンテンツそのものが消去されます。



お知らせ

「WAV G.726」以外のVoiceコンテンツは削除できません。

Voiceコンテンツを編集する

❶ 編集するVoiceコンテンツを右クリックする

❷ [プロパティ] をクリックする

〈プロパティ〉画面が表示されます。
「タイトル」、「アーティスト」欄の変更ができます。

❸ コンテンツ情報を編集して [OK] をクリックする

〈プロパティ〉画面



お知らせ

- 〈HDD画面〉を直接編集して、「タイトル」、「アーティスト」を編集することもできます。
- SDメモリーカード上のVoiceコンテンツの「コンテンツ情報」の変更はできません。
- 静止画の添付はできません。

もくじへ

用語の説明

G.726 ・・・・・・・・・・・・・・・ ITU（International Telecommunication Union、国際電気通信連合）が勧告した、音声をデータに符号化変換する標準方式です。
SD-Jukeboxでは、WAV形式のG.726に対応しています。

SD-Voice規格 ・・・・・・・・ SDメモリーカードにおける音声記録規格です。

- 本製品、およびパソコンの不具合により、Voiceコンテンツが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、OSがWindows XP(Home Edition)のときの操作例を使って説明しています。また、本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。

- SDロゴは商標です。
- miniSDはSDアソシエーションの商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部明記していません。

松下電器産業株式会社

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

MSC0126CD_J_ZA　　MS0205KH0